



2030年に向けて
世界が合意した



一般社団法人地域連携ネットワークみえ

三重県伊勢市御薗町長屋 1 9 6 3 棟エホ・リュ・シヨ内

(☎0596-63-5080 FAX0696-65-7006)

E-mail info@3c-mie.net <https://3c-mie.net/>

2月は逃げ月といって日数も少ないことから、あっという間に過ぎてしまうと言われますが、月にかかわらず、齢を重ねるほど時の流れは早いものです。

これは時間の長さが年齢の逆数に比例するという「ジャンーの法則」というそうです。

今年は南部地域で首長の交代がいくつかあり、国政も体制が大きく変化するスタートとなりました。一方、今開催されているミラノ・コルティナ 2026 冬季オリンピックでは多くの感動が届けられています。ウェルビーイングとは、穏やかな日々の暮らしと少しの刺激ある感動でつくられるものだ実感します。さて今回は、今月5日に多気町の新たに就任された筒井町長にご投稿いただきました。



多気町 筒井尚之町長

このたび、多気町長に就任いたしました筒井尚之です。
どうぞよろしくお願いいたします。

我が国は今、少子高齢化そして人口減少という深刻な時代に直面しており、多気町もその影響をあらゆるところに受けており、大きな課題となっています。だからこそ、今から行動する町政が必要であると考えています。

元役場職員として、長年にわたり町政の現場に携わってきた経験と知識を、今度は町のトップとして推し進めていく覚悟です。

私は町民の皆さまへ二つの公約を掲げました。

一つ目は、「町に体力をつける」です。

町が豊かで元気がなければ何も物事はできません。



成長産業のさらなる誘致による働く場をつくることにより、移住定住促進と財政力強化が期待できます。また、耕作放棄地化する農地を守るため、多気町の基幹産業である農業を担う従事者に対し、行政としてしっかり支援します。そして次の産業として大きく期待される観光を推進するため、VISON を拠点に周辺自治体と広域連携し、町外から人の流れを呼び込み、関係人口増に取り組みます。

二つ目は、「町を永続する」ことです。

町に若者や子供がいないと未来に繋がられません。

人口減少に真正面から向き合い、縁結びなどの出会いの場を積極的に推進し、若い世代が「この町に来てよかった」と言ってもらえる、人生を描ける環境を整えます。

さらに、安心できる充実した全世代福祉を継続し、「この町に生まれてよかった」「この町で生きてよかった」と言ってもらえる、子どもから高齢者まで誰一人取り残さない町政を進めます。

そして喫緊の課題として、「行きたいところへ行きたい時間に出かけられる」、利用しやすい町内交通手段の確保にも全力で取り組みます。



モットーは、3つあります。『計画性(スキーム)、即行動！(スピード)、スタッフ(仲間)』の3S と、『できない理屈よりできる方法を！』、そして『やるリスクよりやらないリスクの方がもっとリスク』。

このことを心構えにして、これまで築いていただいた市政の継続と、一方では新しい発想で、そして元役場職員だからこそその実行力で私は一生懸命、この町のために働いてまいります。

♥♥♥ 多気町を、次の世代へ、『未来へつなぐまちづくり』を進めます ♥♥♥

当社团名誉顧問の内田淳正先生の図書出版を記念して懇話会を開催いたしました



今月14日、元三重大学学長の内田淳正先生の図書発行のご紹介と挿し絵を担当された植野めぐみさんのトークを皮切りに多くのみなさんのご参加により懇話会を開催いたしました。

図書『書きものと挿し絵でこの世の風を読み解く』は、8つの章で構成されていますが、第1章は「田舎の生活は楽しい」で始まります。

内田先生からは、図書のご紹介とともに、最近齢を重ねて思うことについて随想風にお話をいただきました。

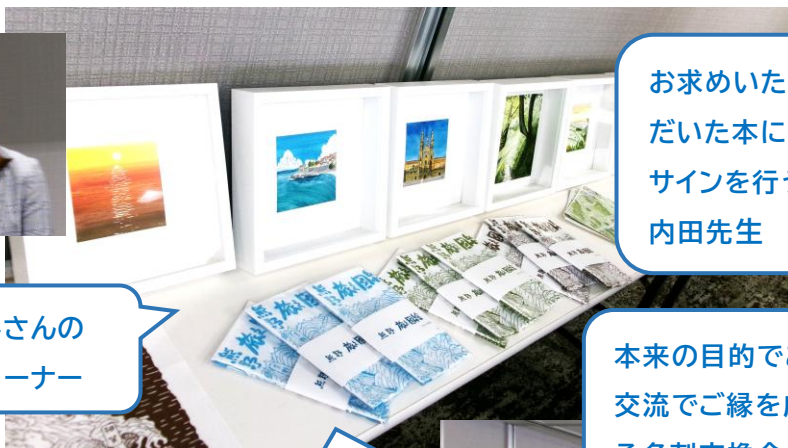
ちなみに今回で5冊目の本となります。

その後、絵地図作家の植野めぐみさんからご自分が今日に至るまでをご紹介いただきました。

これまでの海外での旅から得られた感性が絵地図作家としての植野さんを築いていると感じます。



植野めぐみさんの
作品展示コーナー



お求めいた
だいた本に
サインを行う
内田先生



本来の目的である
交流でご縁を広げ
る名刺交換会



作品を求め名古屋
からお越しいた
だいた方もみえ
ました



これからもこうした交流の機会をつくっていきたいと思います。ご参加いただいたみなさまありがとうございました。